

## 授業改善プラン

授業の PDCA サイクル



生徒が授業で、「学ぶ楽しさ、知る喜び、できた感動(達成感)を味わえる授業の実践！」

教科	工夫	成果	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働学習を導入し、発信と受信、交流する力と正しく表現する力を身に付ける。</li> <li>ICT 機器・タブレットの効果的活用</li> <li>AI アプリ MONOXER による文法・漢字・語彙等の知識の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MONOXER による文法・漢字・語彙等の繰り返し学習ができ知識の定着度が向上した。ミライシード、Teams での課題提出、共有など効率的に授業を進めることができた。</li> <li>協働学習により、交流の中でそれぞれが自らの考えを広げる、深める効果が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒により個人差が大きいので、その差をどう埋めていくかが課題である。</li> <li>効果的な場面での使用を吟味し、どこで ICT を用いて協働作業をするか、共有に適しているのはどのアプリかなどを目標や授業展開に即して考えることが必要である。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI アプリ MONOXER による基礎知識の定着</li> <li>ICT 機器の効果的な使用</li> <li>資料の読み取りに重点を置いた指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MONOXER に繰り返し取り組むことにより、知識の定着度が向上した。</li> <li>NHK for School のクリップ動画を効果的に用い、理解度が向上した。</li> <li>各種の資料を読み取らせることで思考力が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒により取り組むスピードが違いすぎて授業内では扱いにくい。</li> <li>大量に動画があるため、どの動画をどのタイミングで視聴させるかという緻密な授業研究が欠かせない。</li> <li>どの資料を読み取らせ、対話的な授業に発展させるかという部分が課題。</li> </ul>

文京区立第九中学校

<p>数学</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別少人数を生かした授業展開（課題の工夫）</li> <li>知識の活用のため、生活の中の数学を多く取り上げる</li> <li>基礎問題の繰り返し、発展課題への挑戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別少人数ではコース別に難易度を検討した課題を準備できた。</li> <li>具体物や ICT を活用した数学的活動を取り入れることができた。</li> <li>コースに応じた課題を準備できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI を取り入れた ICT 機器（タブレット端末）を日常の授業に取り入れていく方法の検討</li> <li>主体的な学習の展開方法の検討</li> </ul>
<p>理科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 機器を活用した、視覚的に学ぶことができる授業を行う</li> <li>実験・観察活動を多く行うことで対話的な授業とする</li> <li>実験の考察を実験ごとに記入させ、表現力の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察活動では意見を交換し、対話的な学習をすることができた。</li> <li>繰り返し考察を記入させることで、表現力の向上につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 機器では、より多くの動画教材等を用い、教室ではできない規模の実験を提示することができると良い。</li> <li>課題探求型の実験活動を今後は多く取り入れていきたい。</li> </ul>
<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働学習を通し、曲想と音楽の構造や背景などの関わり、多様性について学習する。</li> <li>ICT 機器・タブレットの効果的活用</li> <li>音楽活動を楽しみながら学び、音楽の生活科を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働学習を通し、曲想、音楽の構造や背景などを学びながら、お互いの良さを認めることができた。</li> <li>ICT 機器の活用により、多様な鑑賞活動が実現できた。</li> <li>授業のあと、音楽を口ずさみながら教室移動する生徒の姿があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽科の授業を通して、学ぶことに関心をもち、生徒自ら学習活動を見直し、振り返り、課題を解決できる生徒を育てることが、課題である。</li> </ul>
<p>美術</p>	<p>【1年生】図画工作の学習の接続を意識した授業設計及び環境整備。</p> <p>【2・3年生】単純な知識を問う期末考査から思考力・判断力・表現力等を問うパフォーマンス課題を課す定期考査にするために、年間指導計を根本的に転換した。</p>	<p>【1年生】表現方法の工夫や学習環境を整えることで、生徒が主体的に考えながら学習を進めることができています。</p> <p>【2・3年生】授業での表現及び鑑賞活動で経験的に得た造形的な知識を体系的に表現できるようになった。</p>	<p>【1年生】造形的な知識をさらに定着させ、生徒自らがより目標を明確にして学習活動に取り組ませていく。</p> <p>【2・3年生】昨年度までの知識のみを問う定期考査からの変化に順応できるよう、個別課題について指導を行っていく。</p>

文京区立第九中学校

<p>保体</p>	<p>【1年生】各種単元において小学校での既習事項を確認し“からだづくり＝補強運動”を取り入れ運動の特性・楽しさを学習する。</p> <p>【2・3年生】各種単元において既習事項を確認し“からだづくり＝補強運動”を取り入れ、高まる体力要素を意識づけさせ学習する。</p> <p>【共通】保健分野・体育理論と体育分野の関連性をもたせ、健康的な生活習慣を意識させ実生活に活かす。</p>	<p>【1年生】主運動での身体の操作性が高まり、自己の課題に気づき、他者との違いを認識することができるようになっていく。</p> <p>【2・3年生】主運動での身体の操作性が高まり、自他・チームの課題克服に向けた練習の工夫や教え合いができるようになっていく。</p> <p>【共通】各章(単元)における学習内容・知識が、実生活での健康や安全に関わることが理解できるようになった。</p>	<p>【1年生】体育実技では、運動経験の有無や苦手意識を踏まえ、主体性が高まるようなスモールステップの学習活動に取り組ませる。</p> <p>【2・3年生】体育実技では、課題克服に向け、協働的な学習に取り組ませる。</p> <p>【共通】各章(単元)の既習事項が、実生活での健康や安全につながるような生活行動・生活習慣になるよう促す。</p>
<p>技家</p>	<p>体験を通して、主体的に学び生活に役立つ技能を習得する。また、話し合い活動などを通して、実生活をよりよくするための問題や解決能力を培う。</p>	<p>実生活をよりよくするための技能が多少向上した。</p>	<p>相手の意見に耳をかたむけたり、人の活動に対して観察する力が足りない所があるので、改善していきたい。</p>
<p>英語</p>	<p>音声認識プラットフォーム「World Classroom」、AIアプリ「Monoxer」を使用し主体的に学習を行う。</p>	<p>「Monoxer」を活用し知識・技能を補強することができた。「World Classroom」を活用し生徒は発音に自信がもてるようになった。3年生は昨年度の生徒よりもESAT-Jの結果が向上した。</p>	<p>1・2年生も来年度通知されるESAT-Jの結果をもとにスピーキング指導を改善していく。</p>